

# 羅針盤

やる気・本気  
・元気・根気

## 3学年目標

中学校をやりきる  
～先を見て・考え・  
決定・実践～

## 人事を尽くしたら天命を待て

「人事を尽くして天命を待つ」という言葉があります。ひとつの目標に対して、できることはすべて最善を尽くそう。そしてやるべきこと・準備をやり遂げて本番を迎えたらあとは天命（天の定めた運命）に従おうという意味です。

公立高校の入学選抜を終え、できることは全てやり終えた今です。このあとは結果発表を待つのみになります。入試である以上、合格と不合格があります。北京オリンピック、フィギュアスケートで、羽生結弦選手が「努力が報われるとは限らない」という発言をしました。誰よりも努力してきたつもりなのに、オリンピックという本番で思うような結果を得ることはできなかったことから出た言葉です。勝負の場では、全員が良い結果を得られるとは限りません（もちろん全員の合格を信じていますが…）。しかしその努力は、必ずその人の力になっているでしょう。頑張っただけでやり遂げたら、その後は自分には力の及ばない領域（天命）に任せるしかないのです。そしてどのような結果が出てそれを受け入れ、次に向かっていく姿勢を自分で作っていくことが大切です。卒業まで登校する日はあと8日。残された中学校生活をしっかりと生活していきましょう。

## 人事を尽くして

### 天命を待つ

(じんじをつくしててんめいをまつ)

意味：「できる限りの努力をしたらあとは天の意思に任せよう、また、それだけ努力をしたら結果に関わらず後悔はしない」という心境を表す言葉

## 3年生（最上級生）として

今、1・2年生は予餞会に向けて取り組んでいます。今週末の本番に向けて、最終仕上げの時期です。予餞会に向けて取り組んできた時を思い出します。準備する時間と完成度との兼ね合い。もう少しできたのではないかという想い。緊張したステージ発表と3年生の笑顔。今年は、これらに応えられる3年生でありたいです。できることは、予餞会を楽しむこと、そして学年合唱です。3年生のために創り上げてくれた行事で、立派な最上級生の姿を見せてください。

また、卒業式直前の3月の専門委員会にも3年生は参加します。最上級生として、専門委員会のまとめをしてもらいます。皆さんが最上級生として取り組んできた今年度の取り組み内容と反省をまとめてください。それが、来年度の生徒総会での前年度の報告になります。自分達が運営してきた委員会や評議会の活動はどうだったのか、そして今後はこうなって欲しいという希望まで、責任をもって取り組んでほしいと思います。それが学年目標「**中学校をやりきる**」ひとつです。



## 義務教育を終えるとは

中学校を卒業するとは、義務教育を終えることを示します。卒業式も卒業を祝う会ではなく「卒業証書授与式」と言います。義務教育とはどういうことでしょうか。「この国の構成員としてふさわしい最低限の基盤となる資質の育成」と示されています。社会の良き形成者を作るという「社会的側からの教育」と人生をよりよく生きるための土台を作るという「個人の側からの教育」の両方により「私」と「私たち」の世界を生きることでできる人間を育てることとされています。

大きく分けて次の5つが身につけてほしいと考えられています。

○経済的な自立を除いて、それ以外の自分のことは自分でできる生活能力。

起床、睡眠、掃除等身の回りのこと、基本の日常が自分でできること。

○思考・行動・コミュニケーションのための基礎（言語運用能力、数理能力、ICT能力）

言語を介して相手の考えを受信し自分の考えを適切に発信する力。受信・発信・対話の力として、言語運用能力が特に必要です。

## ○問題解決力

課題を見つけ、その解決策を考え、行動していく力。(どちらかと言えば個人に重点)

## ○組織的行動能力

グループの中で当事者意識を持ち行動する力。自分が考えたことを組織でどう効果的に展開し、グループの力を上げていくかを重点とする。他者と協働して問題・課題を解決していく力です。

## ○自己実現力

探究心や達成志向、実現のための自己管理やストレスコントロールなどが含まれます。自分はどうありたいかという志を常に持ち行動していくことが社会的信用にもつながっていきます。

難しい言葉が続きますが、義務教育を終える今、自分自身として一度考えてみましょう。

# 公立高校入学許可候補者発表日の流れ

3月4日(火)に、公立高校入学者選抜の合格発表があります。

9:00のWebまたは、各高校の掲示板での発表です。

この日の流れを次に示します。3年生の一斉登校はありません。



公立未受検組	公立受検組	
8:10 登校 朝読書 8:20 朝の会 8:30 学活 8:50 下校  15時まで自宅学習	9:00 合否確認 (自宅でWebまたは、各高校の掲示板) LINE 学校連絡『その他連絡』で、学校に連絡する。 「〇〇高校 合格・不合格」	
	おめでとう 合格した生徒 ・書類を受け取りに行く必要がある人は高校へ。 ・受け取りに行く必要のない人は自宅待機 ※浮かれない、落ち着いた行動を	残念 不合格の生徒 ・家の人と今後について最終確認する。
	10:40 登校 各教室へ 個別面談をします	13:40 登校 各教室へ 他学年は授業中です

○残念ながらの結果だった人は次のうちどちらかを選択します。

＜併願校へ進学する場合＞

- ・手続き期日の確認(当日連絡の学校もあります)
- ・振り込み方法、金額、誰がどこで振り込むかの確認。

＜公立高校二次募集の受検を考える場合＞

- ・私立併願校の入学許可候補を辞退する必要があります。
- ・どこに出願するか検討します。
- ・出願書類の準備をします。

この日はいろいろな気持ちがうずまく1日になるでしょう。しかし大部分の人の4月からのスタート地点が決まる日でもあります。しっかりと前を向いて自分自身を考えられる日にしたいです。

## 2月・3月 行事予定 (再掲)

最終下校 17:15(2/16～) 17:30(3/1～)

27 木	全校評議会 公立高校追検査	6 木	1・2年実力テスト 3年「命の授業」
28 金	予餞会	7 金	専門委員会
3/1 土		8 土	
2 日		9 日	
3 月		10 月	卒業式準備
4 火	公立高校入学許可候補者発表 9:00	11 火	卒業証書授与式
5 水	1・2年実力テスト		

※予定は変更になる場合があります。

